

## 企画提案書（基本理念について）

- 1 本事業に関する基本方針、理念等について、知的障害者への理解、知的障害者の余暇活動の促進の観点を踏まえ、具体的に記載してください。
- 2 本事業の実施に当たり、受講者の安全・安心を確保するための考え方について、知的障害者の特性を踏まえ、具体的に記載してください。

※上記項目（1、2）ごとに記載してください。

1 本法人は、全ての人々が偏見や差別を受けることなく、互いに尊敬・尊重される社会を目指しています。“障がい者の社会参加と仲間づくり”を目的に、昭和44年に開始された「いちよう学級」が、参加者の自己実現を果たす場として50年以上の実績を重ねていることに共鳴し、“継承と相互理解”を基調とした運営を目指していきます。

まず、受講者が長年参加をされていることを踏まえ、一人ひとりの個性や興味・関心を把握することに努めます。また、受講者間の関係性に注目すると共に、保護者又は家族の方の意向などを理解することが重要であると考えます。加えて、職員と支援者（講師、看護師、ボランティア等）と受講者の信頼関係が重要と捉えています。既存の支援者には引き続き関わって頂けるよう依頼し、本法人の職員とボランティアとの連携を大切にします。

本法人は、60年以上に渡り知的障がい児・者の野外活動及び余暇活動に取り組んでいます。これまで参加者ご本人に充実した余暇、体験を提供すると共に、ボランティア（隣に寄り添う人）や参加者同士の活動を通して、日常にはない喜びや楽しさを感じてもらうことを念頭においてきました。また保護者が参加者を安心して委ねることで、他の兄弟や家族に愛情を注ぐ時間を提供しているとも考えます。また、支援者にとっても障がい者と出会い視野を広げることで、障がいのある方々への理解者を増やしていくことも大切であると考えます。同じ時代を生きる地球人として、共に歩み、喜びを分かち合うことで、誰も軽んじられないあたたかな社会を創る担い手となっていくことを願っています。

## 【具体的方策】

支援者がプログラム企画検討に参画することで、運営の主体者としての自覚を促します。そして、毎回の活動への評価を共有することで研鑽を深めます。

知的障がい者への対応は、“慣れた人、いつもの場所、同じパターン”に安心感を見出す方が多いので、支援者が継続して関わられることを促していきます。支援者が知的障がい者への理解を深めるには、講義や実技研修等により一般的な知識を深めることを大切にしますが、受講者一人ひとりの個性等を理解し尊重することを重視して、支援者が可能な限り継続的・長期的に関わっていくことを目指します。

受講者とのコミュニケーションの幅を広げ、緊急を要する場合や、言葉が出ない場合にも、適切な対応ができるように備えます。知的障がい者の余暇活動の増進を図るには、様々な機会や新しい場を提供することが求められますが、受講者の新しい環境・状況への適応には個人差があることを考慮して、従来の年間予定を大きく変更することは控え、これまでの基本的なパターンを継承することを基本とします。その上で、本法人のリソースと実績を生かせるように努めていきます。

2 何よりも“安全”を優先すべきことを、職員や支援者に徹底させることに止まらず、受講者と保護者にも周知し、全体として“安全意識”を高めます。事故を未然に防ぐには、危険や危機を予知・予見し、危険回避に努め、受講者が危険な場面に遭遇しないように注意を喚起します。また、受講者だけでなく、支援者の身体的、精神的疲労にも配慮します。可能な限りの対策を講じたにもかかわらず、万一事故が発生した場合は、第一に受講者と支援者の命の安全を確保し、二次災害の回避に努めます。速やかに港区へ報告し、以後の対応を連携して進めます。事故の状況に応じて法人本部に「事故対策室」を設置します。

#### 【具体的方策】

- ・未然に事故を防ぐために、日頃から受講者の特徴、様子、健康状態の把握に努めます。そのために、「健康調査書」の提出を求め、障がい内容の把握、生活習慣の把握、健康状態、服薬、特別に留意する事項など、保護者からの情報収集に努めます。
- ・活動場所は必ず事前に実地踏査を行い、複数名で確認をいたします。
- ・支援者の安全意識を高めるために、実地踏査の情報を事前に説明することで、危険な個所の回避、プログラムの特性、衛生面、備品の特徴などを確認します。
- ・支援者に対しては、安全対策を活動案に盛り込み、直前の打ち合わせ等で再確認をします。
- ・支援者を対象とした安全管理、危機管理の研修をします。
- ・受講者の安全意識を高めるために、活動開始時に受講者へ安全指導(危険な個所や危険な行為の確認等)を行います。
- ・受講者の体調管理の把握に努めます。活動時に体調の悪い受講者は保護者と相談の上、活動参加を控えていただくことも検討します。
- ・調理実習や昼食時、宿泊活動においては、衛生管理を徹底します。衛生面や用具の確認、賞味期限、食物の保存管理、アレルギーの確認等を徹底します。
- ・活動時の事故連絡、報告を速やかに行えるように、港区への連絡体制を明確にしておきます。同時に、法人本部との連携を緊密に行います。

※ 印刷はA4サイズとしてください(2ページまで可。片面印刷)。

※ 文字のサイズは原則11ポイント以上とします。